

事業概要【中小製造事業者「ヒトづくり」推進事業】

旧制度（推進）

申請者	静岡県静岡市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	48,770千円 (30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・本市の主要産業である製造業の更なる魅力向上・競争力強化を図るとともに、中小製造事業者のIT導入及び人材育成など、短期的・長期的両面から「ヒトづくり」事業を重点的に取り組むことで、労働力の「質」を高め、かつ「量」の確保につなげ、地域全体の活力を高める。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○民間団体によるオープンファクトリー事業に対する補助金 2,000千円</p> <p>○取り組むべきDXを明確にするための専門家による伴走型の支援の実施のための委託料 委託料26,000千円</p> <p>○市内事業者が本市指定の教育機関でリスクリングのための講座を受講した際の費用に対する補助金 2,000千円</p>		
KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	<p>①生産年齢人口における本市製造業への就業率 (当該年度目標値+1%)</p> <p>②オープンファクトリー事業への参加が自社にとってプラスになったと捉える市内中小製造事業者の割合 (当該年度目標値+95%)</p> <p>③自社のDXに取り組む市内中小製造事業者の割合 (当該年度目標値+9%)</p> <p>④人材育成に取り組む市内中小製造事業者の割合 (当該年度目標値+5%)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000334.html</p>

事業概要【スタートアップ協業促進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	562,420千円 (202,770千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市内経済にインパクトを与えるスタートアップの呼び込みや、スタートアップと市内企業との連携を促進することで、革新的な技術やアイデアで産業構造の転換や新たな社会の価値創出を図り、次代の経済成長を牽引する新産業創出やイノベーションの推進による企業の競争力の強化や持続的な成長・発展につなげ地域経済の活性化を目指す。 これらを自律的・持続的に実現させるために、市内はもとより、県域や首都圏に広く存在する強みや成長資源を取り込み、スタートアップが静岡で活動しながら規模の拡大を伴う事業発展を行い、リソースの呼び込みと次の投資にまわる好循環を実現できる環境（イノベーション・エコシステム）の形成に取り組むことで、地域で稼ぐことができ、若者に魅力ある「しごと」を創出し、多様な人々の地域への流入を促し、市民等による活発な都市活動がなされる持続可能なまちづくりを推進する。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <p>スタートアップ等の有する行う革新的アイデアや技術を活用し、産業や地域における課題解決に向けた実証実験を民間企業や行政との共創により行う。また、学生向けのアントレプレナーシップ教育のための講座等の開催も実施する。</p> <p>【主な経費】</p> <p>市が抱える行政課題の解決をスタートアップとの共創で取り組む「知・地域共創コンテスト」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知・地域共創コンテスト事業運営（委託料）45,000千円 ・コンテスト採択事業への実証事業支援（負担金）78,120千円 <p>市内企業とスタートアップとの協業による新規事業創出等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンイノベーションプログラム運営（委託料）25,000千円 ・新規事業創出に向けた実証に対する助成（補助金）25,000千円 <p>学生向けのアントレプレナーシップ教育のための講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座・ワークショップ運営（委託料）8,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>静岡商工会議所、静岡ベンチャースタートアップ協会と共同でスタートアップとの協業・連携に取り組むとともに、市内企業との連携を促進する。</p> <p>また、静岡県や金融機関と連携し、スタートアップに対する事業の周知やVCとのネットワーキングを図るほか、市内大学とも連携し、学生に対して施策の広報を行う。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数（+1,196人） ②本事業を通じ創出された協業・共創プロジェクト数（+65件） ③働きやすいまちだと思ふ人の割合（+5.2%） ④スタートアップや起業に関心を持つ学生の割合（+3%）

事業概要【中心市街地活性化に向けた子どもの遊び場設置・運営事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	180,000千円 (60,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯のニーズを充足する魅力を創出し、中心市街地への来街を促す ・新たな民間投資を呼び込み、空き店舗の新たな活用を促す ・親子の来街をきっかけとした新たなにぎわいづくり、中心市街地の活性を図る 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p><静岡地区中心市街地></p> <p>○実行委員会を立ち上げ、空き店舗を活用した子どもや子育て世帯向けの学びの場及び子どもの遊び場づくり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場設置・運営事業（負担金） 25,000千円 <p>○補助制度を創設し民間投資を誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て関連施設出店支援事業補助金 5,000千円 <p><清水地区中心市街地></p> <p>○実行委員会を立ち上げ、子育てイベントの実施や空き店舗を活用した子どもや子育て団体の活動の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場設置・運営事業（負担金） 30,000千円 <p>○子ども・子育て世帯を対象とした店舗の出店への補助制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て関連施設出店支援事業補助金【再掲】 5,000千円 					 <p>空き店舗の遊び場イメージ</p>	 <p>アーケード下の遊び場(イベント)</p>
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街や自治会等で組織する実行委員会が、遊び場の設置・運営を、実施するほか、地域住民の意見の吸い上げや情報提供を行う。 ・子育て支援活動を行う市民団体等が、遊び場において、講座・イベントを実施する。 ・学識経験者（大学教授）を委員に含む中心市街地活性化協議会が、事業に対し、助言や情報提供を行う。 					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①静岡市の総人口（▲6,941人） ②歩行者通行量（静岡地区）（+1,124人/日） ③歩行者通行量（清水地区）（+304人/日）

事業概要【インクルーシブ雇用による誰もが活躍できる都市の実現】

申請者	静岡県静岡市				初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	150,780千円 (53,660千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の切り出し方法等、企業へのコンサルティング支援や普及啓発を行い、就労希望者の受入れ拡大を図る。 ・デジタルツールを活用した就労希望者の能力・適性判断手法を確立し、就労準備の支援及びマッチングへの活用を図る。 ・就労希望者と企業のマッチングを支援し、多様な働き方による市内の活性化・市民の活躍推進を図る。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】</p> <p>①マッチング支援事業 企業へ訪問、コンサルティングを行い、本人の能力・適性にあった仕事・業務を創出しマッチング支援を行う。また、就労希望者本人向けの総合相談窓口を新規開設し、市（区）役所各窓口と連携した就労支援を進める。</p> <p>②就労アセスメントモデル事業 ケース会議や支援者の感覚・勘に頼った定性的評価ではなく、本人の生活面の能力及び就労面の能力を詳細に定量化・レーダーチャート化できるアセスメントツールにより、能力・適性に適合した仕事とのマッチングを図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>①マッチング支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業へコンサルティング等マッチング支援（委託料） 32,800千円 ○総合相談窓口の運営（負担金） 13,500千円 ○企業・本人支援（インセンティブ・表彰（認証））・新たな就労支援制度（PFS等）検討費用等 460千円 <p>②就労アセスメントモデル事業（委託料） 6,900千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>産業分野（商工会議所・農業団体・企業）とは、事業広報・協力企業開拓・求人情報提供で協力する。</p> <p>学術分野（大学）とは、就職指導において、地元企業や地場産業に関する情報提供を充実させる。また、学識経験を有する教員から事業に係る専門的な指導・助言をいただく。</p> <p>労働分野（シルバー人材センター）とは、特に高齢者就労の促進に係る事業について協働する。また、設置する総合相談窓口へ定期的に職員を派遣していただく。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における人口一人当たりの労働生産性（一人当たりの労働生産性が向上した企業の割合）（+30%） ②企業の新規開拓数（+750社） ③普及イベント・連携会議等、参加者数（+1,280人） ④研修参加者数（+620人）

事業概要【持続的な観光地域づくり・ブランディング推進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	360,585千円 (153,688千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 本市ならではの観光コンテンツの造成支援を行い、観光消費額の向上及び市内滞在時間の向上を目指す。 ターゲットに向けたプロモーションと受入環境の整備を通じて、国内外の観光客の増加を目指す。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 本市の地域資源を活かした観光コンテンツに向けて、意欲ある市内事業者の取組を支援する。</p> <p>【ソフト事業経費】 (魅力づくり/体制づくり)</p> <p>①SDGsのー美食・絶景・歴史ー感動体験のまち創造事業 ・コンテンツづくりのための伴走支援(委託料) 70,000千円</p> <p>②茶農家のインバウンド対応推進 ・茶畑ガイドシステム企画運営(負担金) 5,000千円 ・茶農家受入環境整備(補助金) 5,000千円</p> <p>(情報発信)</p> <p>③インバウンド向けプロモーション、商談会の参加 ・口コミ拡大に向けたPR企画運営(委託料) 5,000千円 ・万博アニメツアーリズムイベント出展(負担金等) 2,700千円</p> <p>④観光情報ウェブサイト改修事業(補助金) 13,500千円</p> <p>⑤VISIT JAPAN トラベル & MICEマート出店(負担金等) 198千円</p> <p>(クルーズ客対応)</p> <p>⑥清水港客船誘致委員会負担金(負担金) のうち、観光案内所等の運営強化分 36,790千円</p> <p>⑦商店街等のクルーズ客対応推進(委託料) 6,500千円</p> <p>⑧外国人材による地方創生事業(人件費) 9,000千円</p>					   	
地域の多様な主体の参画	<p>地域連携DMOはもとより、市内事業者(旅行業者、茶業関係者、宿泊業者など)と連携して、観光消費の拡大に取り組む。</p> <p>クルーズ客対応では、清水港客船誘致委員会をはじめ、清水港周辺の事業者や交通事業者などとの連携を強化しながら取り組む。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額 +450億円('28) ②外国人延べ宿泊客数 +21万人泊('30) ③1人あたり観光消費額(日帰り) +3,500円('30) ④1人あたり観光消費額(宿泊) +7,000円('30) ⑤クルーズ客1人あたり観光消費額 +6,000円('28)

事業概要【東静岡地区まちづくり推進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,117,600千円 (57,600千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	東静岡地区は、静岡市都市計画マスタープランにて副都心地区として位置づけられ、今後、アリーナの整備や新県立中央図書館の移転が予定されていることから、民間投資の動向など、エリア全体のまちづくりを公民共創で進め、若者・子どもが未来に希望を持てるまちを実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的なエリアビジョンや、将来像の実現に向けたロードマップ等を作成し、官民連携まちづくりやまちのにぎわい創出の基礎とする。 アリーナ、図書館整備後に増加が想定される鉄道利用者の歩行者空間等を確保するため、調査や予備設計等を実施する。 <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東静岡地区まちづくり基本計画策定等経費 27,140千円（委託料） 基本計画策定、用途地域等の都市計画変更検討、都市交通・次世代モビリティの調査検討 等 ○ペDESTリアンデッキ等調査経費 30,460千円（委託料） 予備設計、現地測量、地質調査 等 						
地域の多様な 主体の参画	地元代表や鉄道管理者、国、警察などで組織する協議会において、公民共創のまちづくりを推進するにあたり、委員からの意見聴取を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①静岡市の人口減少数（▲40,061人） ②（仮称）静岡市アリーナの年間来場者数（+669.1千人） ③JR東静岡駅および静岡鉄道長沼駅の乗降客数（+986人） ④市民意識調査で「静岡市は活気があり、人を惹きつける魅力がある」と回答した市民の割合（+11.2%）

事業概要【デジタル技術を用いた地域の歴史資源（駿府城跡）の再現・活用促進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	150,000千円 (80,000千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 本市の目指す歴史観光振興の拠点として駿府城跡天守台の野外展示をデジタル技術を用いて魅力あるコンテンツに育て上げる。これにより、観光消費額の向上及び市内滞在時間の延長、地域経済活性化とともにシチズンプライドの向上をも目指す。 デジタル技術により制作するVR・ARは、観光に加えて教育、産業振興、人材育成にも活用していきたい。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 本市の地域資源である駿府城において実施された天守台の発掘調査の成果を活かしデジタル技術により、ありし日の駿府城天守等を再現し、歴史資源を活用した観光や子供たちの学びに有効利用するため高精細CGを作成する。CGを利用したVRを制作し、別途整備を進めているガイダンス施設内のシアターにて上映する。さらにARを制作し、駿府城公園及びその周辺エリアで実際の石垣などと一体で可視化し、歴史を切り口とした観光客の周遊に活用できる環境をと整える。</p> <p>VR・AR制作 R7年度（委託料）80,000千円</p>					 <p>The image shows two examples of digital content. The top part shows a person's hands holding a smartphone, displaying an AR overlay of a castle tower on a real-world background of a park. A gold circular icon with 'AR' is overlaid on the image. The bottom part shows a VR scene of a castle tower on a stage with red seats in the foreground. A gold circular icon with 'VR' is overlaid on the image.</p>	
地域の多様な 主体の参画	市内企業及び商工会議所によるVR等制作への協力、VR等を活用した観光事業の推進。地元大学等によるデジタルコンテンツ制作に際しての基礎情報の収集協力や技術的支援、地域おこし協力隊による歴史のまちづくり推進の立場から事業サポート体制の構築など。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+45,000百万円） ②観光消費額単価（日帰り客）（+257円） ③駿府城公園施設年間来場者数（+98,338人） ④駿府城公園施設来訪者の満足度（+8.52%） ⑤駿府城関連施設への再訪意向（+21.0%） ⑥歴史観光を目的とした来訪者率（10.5%）

事業概要【ガストロノミーツーリズム推進事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	54,310千円 (18,290千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	本市には、南アルプスから駿河湾までの標高差5,500mの自然の中で育まれた豊かな食材があるが、それを十分に生かし切れていない。来訪者がその背景にある歴史や食文化に触れながら、食の豊かさを未来に繋げていく“静岡市ならではのガストロノミーツーリズム”を推進し、食による地域での観光消費額の増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>「循環型」「持続可能」「再生可能」をテーマとした地域の食を取り巻く歴史や文化、環境を守りながら食の豊かさを未来に繋げていく『(仮)静岡市型循環・再生可能な食文化観光』を推進する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○持続的な推進体制の構築 2,760千円 ・ガストロノミーツーリズム推進体制の構築、セミナー開催 ・ガストロノミーツーリズムアドバイザー招聘 ○食のブランドイメージの創出 6,000千円 ・(仮)静岡市ベストレストランアワードの実施とSDGs認証の拡大 ○高付加価値な食体験コンテンツの造成 2,500千円 ・産地のくらし体験プログラム ○プロモーションと地産地消のサイクル 7,030千円 ・「和食展しずおか」関連誘客企画 ・新幹線しずおか朝どれエクスプレス ・大阪万博を契機としたガストロノミーコンテンツ開発と産地への誘客PR 						
地域の多様な 主体の参画	<p>市内事業者（生産者・飲食店・宿泊施設・旅行会社）と連携し地域資源を活かしたコンテンツ造成に取り組み、地域連携DMOとも共同した対外的なプロモーションを行うことで観光消費の拡大に取り組む。</p> <p>関連イベントの開催にあたっては、市内大学や専門学校等とも共同して運営をサポート。事業への参画を通じて食文化を継承し取組を実践する担い手の育成につなげる。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ① 1人あたり観光消費額における「飲食代」 (+1,215円) ② 食を目的とする観光客の割合 (+4.75%) ③ 飲食に2万円以上消費する人の割合 (+2.5%) ④ 「ふじのくにSDGs認証」取得市内飲食店の数 (+50店舗)

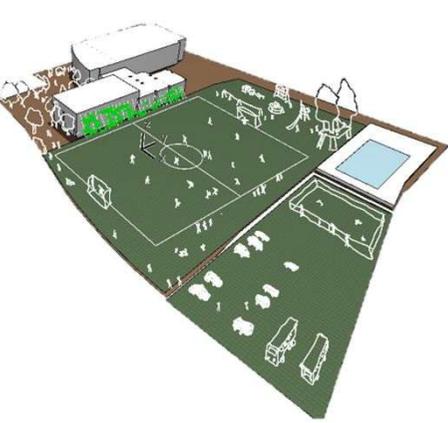
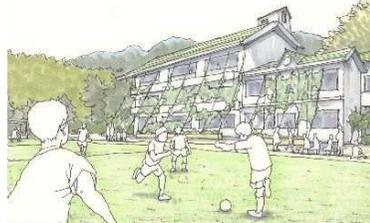
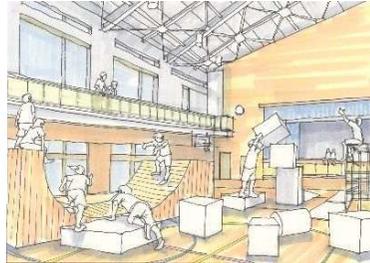
事業概要【物流における2024年問題の解決に向けた生産性向上支援事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	278,400千円 (100,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 物流の2024年問題を背景に改正された法令で設けられた努力義務等に対応し、生産性の向上や事業の高度化に積極的に取り組む市内中小貨物運送事業者を支援することで、本市域内における物流の効率化を推進し、持続可能な物流を実現する。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○物流効率化に向けた生産性向上支援 ・物流効率化等生産性向上支援事業（補助金）95,000千円 ・専門家による相談・制度活用促進（委託料）4,800千円 ○物流の2024年問題に対応する関係者ネットワークの構築 ・会議開催経費（報償費・費用弁償）200千円 					 <p>【物流効率化の事例】 「バラ積み・バラ降ろし」から「パレット利用」に変更し、荷役時間を短縮</p> <p>出典：国土交通省資料を加工して作成</p>	
地域の多様な 主体の参画	関係事業者でネットワークを構築し、生産性向上の取組を推進・効果検証することにより、サプライチェーン全体で物流効率化に取り組む。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における人口一人当たりの労働生産性（一人当たりの労働生産性が向上した企業の割合）（+270%） ②補助金を交付した事業者の件数（+150件） ③専門家による相談支援延べ件数（+450件）

事業概要【ローラースポーツパーク整備事業】

申請者	静岡県静岡市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	133,750千円 (133,750千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」の令和7年9月末の閉鎖に伴い、若者を中心に人気のローラースポーツを楽しむ機能を引き継ぐ恒久的な施設を整備することで、市民のローラースポーツをする機会の確保を図るとともに、初級～上級向けセクションを整備することで、練習等を目的とした市内外からの誘客を促進し、若者・親子連れが集まる施設として地域の活性化に繋げる。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【整備場所】 静岡市西ヶ谷総合運動場 第二駐車場の一部 (2,000㎡)</p> <p>【施設利用開始予定日】 令和7年9月末</p> <p>【拠点整備事業経費】 新ローラースポーツパークに係る整備費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路面整備 75,000千円 ・困障工事 7,000千円 ・照明工事 25,000千円 ・セクション整備 59,000千円 				 <p>整備予定地周辺 位置図・写真</p> <p>ローラースポーツエリア整備予定地(現在は第2駐車場の一部)</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>市内大学と連携し、施設運営に関する専門的知見からの助言をいただき、PDCAサイクルによる業務改善を行っていく。</p> <p>利用者同士のコミュニティの形成を図るとともに、利用者目線での施設の管理・運営についての意見に関して、市及び指定管理者が随時反映していく。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	<p>①地域の交流人口数 (+6,120人)</p> <p>②本施設の利用者数 (+8,160人)</p> <p>③本施設の利用者数(市外在住) (+4,080人)</p> <p>④市民意識調査において、「活気があり、人を惹きつける魅力があるまちだと感じるか」という設問に対する回答 (+11.2%)</p>

事業概要【旧清水西河内小学校を活用した交流拠点整備事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	345,334千円 (345,334千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 旧清水西河内小学校を改修し、地域の豊かな自然環境や観光資源を活かした交流拠点として整備することで、観光消費額の増加を図る。 森林資源を活用した木育プログラムや環境教育を実施し、自然と調和した暮らしの魅力を発信する。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 廃校となった学校を地域の交流拠点施設として再整備する。地域に不足している宿泊機能を新たに整備するとともに、地域の森林資源を活用した木育プログラムや環境教育を実施する。また、今後開業を予定している中部横断自動車道スマートICを活かし、広域からの来訪者の誘致を目指す。</p> <p>【拠点整備事業経費】 校舎・体育館等を改修し、宿泊機能や木育環境等を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設整備等 120,305千円 (ドミトリー・個室の宿泊室、レンタルオフィス、大型木製遊具、飲食機能など) グラウンドに芝の少年用サッカーコートを整備 外構整備等 201,639千円 					   <p>施設整備イメージ</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>大学や自治会との連携により、地域資源や地域人材を発掘し、新たな体験アクティビティの開発に取り組むとともに、事業に関する結果数値等の分析を行い、事業改善を図る。</p> <p>施設活用事業者と地域の近隣事業者との連携体制を構築することで、周辺の観光施設等と連動した取組を実施し、エリア全体の魅力向上を図る。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①本施設により発生する地域の観光消費額 (+125,179千円) ②本施設の利用者数 (+26,754人) ③近隣施設や地域住民等と連携した体験ツアーやプログラム等の造成数 (+5件)

事業概要【工芸品海外販路開拓事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	60,000千円 (20,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 工芸品産業の国内出荷額の増加を図るとともに、海外市場への訴求活動を通じて、工芸品に対する新たな需要を生み出し、持続可能な工芸品産業の形成を目的とする。 工芸品を観光や教育に資する地域資源として再定義することで、「工芸のまち」としてのブランド創成に取り組むこととする。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 静岡市の地域特性と歴史文化を内包し、緻密で繊細な工芸品に新たな価値を吹き込み、訪日外国人や海外在住の人が高い対価を支払ってでも購入したいと思えるような製品を創り出す事業。</p> <p>【ソフト事業経費】 ブランディング戦略立案のため、工芸品市場の商品調査に関する事業及び試作品開発事業に係る委託料。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場調査費（委託料）4,000千円 商品および生産調査費（委託料）3,000千円 企画運営費（委託料）3,000千円 モニター調査費（委託料）4,000千円 商品開発費（委託料）6,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>本市が事務局となり、関係者間のマッチングを行い、プロデューサー・職人・デザイナー・マーケティング専門家等からなるチームを結成。本市工芸品産業の「ありたい姿」の共通認識を図り、現状分析、市場調査を行ったうえで、静岡産工芸品の「ブランディング戦略」を策定する。官民が協力する体制を築いた上で、各種調査の結果を検証、フィードバックし、「ブランディング戦略」を練り直す。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★①地元工芸職人年間工芸品出荷額増加率 (+4%) ②海外市場での商談成立件数 (+20件) ③小売店や代理店販売先の確保件数 (+3件) ④事業参加地元工芸職人数 (+5人)

事業概要【医療・福祉施設路線導入事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	11,000千円 (5,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化社会の進展に伴い増加する医療機関への受診、保健福祉機関のサービス利用の移動需要への対応として、乗車時間が短く、長距離の歩行の必要がない利便性の高い民間主体の公共交通を導入する。 保健福祉サービスを総合的に提供する基幹拠点における交通空白を解消し、健康な生活を送るために不可欠な市民サービス提供の支障を解消する。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 ターミナル駅である静岡駅と各総合病院・保健福祉サービス提供拠点を短時間で結ぶ小型車両による民間主体の路線を導入する。 導入実現のため、まず、市が実証実験により路線の需要、収支等の事業採算性を確認し、その結果をもとに補助等の公的支援制度を整備し、民間主体の路線運行を実現していく。</p> <p>【ソフト事業経費】 小型車両による路線運行の事業採算性を確認するための実証実験委託料 5,500千円（運行経費から運賃収入を差し引いた額を支出）</p>					 	
地域の多様な 主体の参画	<p>学識経験者、民間交通事業者、関係行政機関、住民組織で構成する静岡市地域公共交通会議において、新たな交通の実施について協議を実施する。 各参加者の知見や専門性を活かした助言を反映し、より利用者のニーズに即した適切な事業となるよう連携する。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①公共交通機関利用率（+0.000233%） （総人口に占める公共交通機関の1日当たり利用人数の割合） ②新たな路線の利用者数（+57,840人）</p>

事業概要【清水庵原地区ユニバーサルスポーツ聖地化事業】

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	802,038千円 (59,312千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	人や企業の地方分散
目的・効果	<p>・競技種目としてのユニバーサルスポーツに限らず、健常者スポーツとパラスポーツの垣根を越え、清水庵原地区「エリア全体」で多様な人が幅広い種類のスポーツ競技に取り組むことが出来る環境を目指す。</p> <p>・「清水ナショナルトレーニングセンター」と「IAIパラスポーツパーク」の中間地点にある清水庵原球場敷地内に障がいの有無に関わらず誰もが利用可能な屋内運動場を整備し、庵原地区全体をユニバーサルスポーツの『聖地』として進化させ、首都圏・関西圏からの利用拡大を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 障がい者が優先的に利用することのできる市営の屋内運動場を清水庵原球場敷地内（静岡市清水区）に新設（設計・建設）する。近隣の施設と合わせ、健常者・障がい者の垣根を超えた交流型のスポーツ施設環境を構築し、庵原エリア全体としての面的スポーツ機能の充実を図るとともに交通アクセスの良い地域性を活かし、地域の活性化を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 庵原エリアのユニバーサルスポーツ聖地化に向けた機運醸成のため、パラスポーツイベントを開催する。</p> <p>・パラスポーツイベント開催403千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 清水庵原球場敷地内に屋内運動場を整備</p> <p>・施設整備 59,312千円（設計）</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>・IAIパラスポーツパークと連携し、障がいのある方を対象とするスポーツイベントや、障がいの有無に関わらず多くの人が集まるパラスポーツ体験会等を開催し、障がいに対する理解を深める。</p> <p>・市内の大学と連携し、イベント参加促進や、魅力あるイベントの開催に取り組む。</p> <p>・地元自治会に事業への理解・協力を求め、地域住民の意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①地域の交流人口数（+32,000人） ②障がいのある方の16歳以上の週1日以上上のスポーツ実施率（+29%） ③市内におけるパラスポーツ指導者数（+54人）</p>

事業概要【旧足久保小学校を活用した交流拠点整備事業】

申請者	静岡県静岡市				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	300,000千円 (265,301千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 旧足久保小学校を改修し、地域の豊かな自然環境や静岡茶発祥の地という歴史を活かした交流拠点として整備することで、観光消費額の増加を図る。 周辺の資源を活かしたアクティビティや季節に応じたイベントを実施し、地域の自然の魅力を発信する。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 廃校となった学校を観光交流拠点施設として再整備する。静岡市に不足している団体向けの宿泊機能を新たに整備するとともに、オートキャンプ場、飲食店、ドッグランなどを整備し、周辺の資源を活かしたアクティビティやイベントを実施する。また、新東名高速道路の新静岡ICから約10分、市街地から約30分という立地の良さを活かし、国外を含めた広域からの来訪者の誘致を目指す。</p> <p>【拠点整備事業経費】 校舎・体育館等を改修し、宿泊機能等を整備 ・本体工事等 201,011千円 (団体部屋・個室の宿泊室、飲食機能 など) グラウンドに駐車場、テラス等を整備 ・グラウンド整備等 58,161千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>自治会との連携により、地域資源や地域人材を発掘するとともに、実施予定のアクティビティ、イベントへの協力を得る。 また、大学との連携により、観光地となりうる地域資源の再発見や、新たな体験アクティビティの開発に取り組むとともに、事業内容に関する分析を行い、事業改善を図る。</p>				<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①本施設により発生する地域の観光消費額 (+230,143千円) ②本施設の売上金額 (+264,795千円) ③近隣施設や地域住民等と連携した体験ツアーやプログラム等の造成数 (+4件)</p>

事業概要【動物を介した交流拠点整備事業】

申請者	静岡県静岡市				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	327,184千円 (706千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 人や企業の地方分散
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 「動物を介した交流拠点」を整備し、訪問者やイベント参加者、動物ボランティア団体及び静岡県中部5市2町等による交流人口を増やす。 訪問者1人1人への動物愛護に係る普及啓発や、動物ボランティア団体等と協働し犬猫の適切な飼養推進及び動物に対する理解増進を図ることにより、「人と動物が穏やかに共生できるまち」を実現することで、本市に新たな魅力を付加する。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 既存施設を解体し、跡地に移転・再整備を行う動物愛護センターの一部に、交流機能を有する施設（動物譲渡室兼ふれあいルーム、屋外ドッグラン、犬同伴カフェ、多目的会議室兼イベントルーム）を設置する。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ・既存施設の一部解体 706千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>動物ボランティア団体等を含む動物関連団体との関係を構築し譲渡会等のイベントを実施する、静岡県5市2町との連携事業を実施するなどにより、動物愛護精神の普及・啓発を行う。動物専門学校及び民間利用者とともに施設の効率的な利活用方法を検討し、利用者の増加につなげるとともに、事業内容への反映に取り組む。</p>				<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①地域の交流人口 (+3,876人) ②協働する動物関連団体数 (+2団体) ③交流拠点におけるイベント実施数 (+18回)</p>